

6/19 火 ① ホブド県病院にて手術、技術移転。

日本人執刀2件、ウランバートルの先生執刀2件。

左



右



起床 6:00

左写真

7:30 朝食後、オペ準備、10:00 オペ開始。

右写真

アヤンガ先生執刀。右のライト係はホブド口腔外科看護師。手術室に元々あったSINEI吸引機を使用。もう1台のHansin Medical吸引機は焦げ臭かった。



左写真

口唇縫い直しなどが起きて、3時間半位かかった。

右写真

無事終了。



左写真

川又先生が通訳さんを介して、ホブド口腔外科医NANJIDOMAA BYAMBAA先生にオルソモパントモかデンタル用写真を依頼したが無いとのことだった。代替りのX線写真をみる川又先生。

右写真

左、麻酔科医木村先生。



左写真

獨協チーム。イソフルレン使用。麻酔器は、元々の現地のもの。

右写真

13:30 オペ前半終了後、病棟8号室にて病院のご用意くださったうどんや、日本から持ってきたインスタント食品で昼食。

6/20 水 ホブド県病院 講義、寄贈機器確認

10:15～ ホブド県病院3階会議室にて口腔感染疾患の約1時間の講義。専門的な事柄に楽しい話題を織り交ぜられていた

左

右

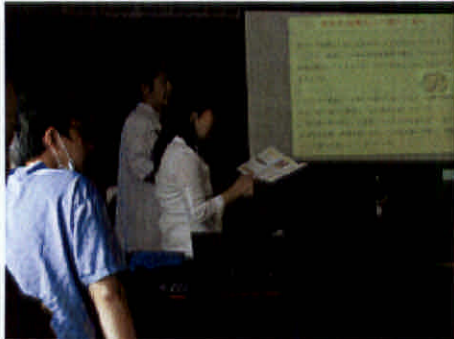


左写真

オーディエンスは12名でした。(女性8名、男性2名、子供1名。今回手術を受けた母親の方が主。)

右写真

今井教授の説明をOyunaaさんが通訳。配られたパンフの制作では翻訳もOyunaaさんが担当。



左写真

左男性は講義スライド作成くださった土田先生。

右写真

ホブド口腔外科
Dr. Nanjidmaa Byambaa
パンフを読んでいるところ。



左写真

今回オペの患者様のお母様方。

右写真

同上



左写真

ご質問くださったお母さん。獨協大学にも診察だけ受けにいられていて、今回ホブドにて手術を受けられた。JICA道路敷設の通訳をされていた。

右写真

手術後、飲み込みが悪くなったが、とご質問くださったお母様。

6/20水 続き 寄贈機材保管の確認、改修工事確認

言語治療室はペンキを塗っていたり、工具が置かれていた。手術室は本日もオペを行っていたようで、終わってから確認や撮影をした。改修用器材をウランバートルに発注してあるとのことであった。

左

右



左写真
言語治療室 天井の照明

右写真
言語治療室 工具と机



左写真
言語治療室 机とシンク

右写真
言語治療室 奥から入口側の
写真

(※ 7/19 木 Ariuntuul先生からのメールで、言語治療室は手術は終了したと連絡があった。手術室の改修工事は、病院全体の設備工事(暖房設備等)が終わってから行うことになり、7月末頃完了となる予定とのことであった。

6/20水 続き 手術室 改修工事確認

左



右



左写真
手術室の扉

右写真
扉の札



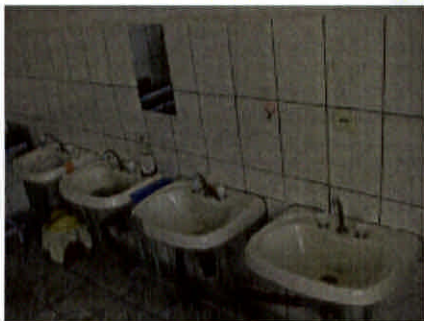
左写真
扉入ってすぐ、手洗い場の手前

右写真
手洗い場手前にある扉の向こう



左写真
手洗い場手前にある扉の向こう
洗面台

右写真
手術室前 手洗い場内



左写真
手術室前 手洗い場

右写真
同上